

研究協力をお願い

昭和大学横浜市北部病院では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

術後抗凝固療法が予定された両側人工膝関節置換術の術後合併症に関する検討～硬膜外麻酔と神経ブロックを比較して～

1．研究の対象および研究対象期間

2016年4月1日から2023年3月31日の期間中、昭和大学横浜市北部病院で待機的両側人工膝関節置換術を行った患者さん

2．研究目的・方法

昭和大学横浜市北部病院ではこれまで両側の人工関節置換手術を受ける患者さんに対して、術後鎮痛として硬膜外麻酔を施行していましたが。血液サラサラの薬を内服しているなど、硬膜外麻酔が行えない患者さんには、硬膜外麻酔の代わりに神経ブロックを施行していましたが。近年、硬膜外麻酔を施行できない患者さんが増えてきていることもあり、2024年4月から当院では基本的にはどの患者さんも硬膜外麻酔は行わず、神経ブロックを施行することとなりました。この研究では、これまで硬膜外麻酔を受けた患者さんと神経ブロックを行った患者さんで術後の経過に違いがあったのかを調べます。

3．研究期間

昭和大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会審査後、委員会から発行される「審査結果通知書の承認日」より、研究実施機関の長の研究実施許可を得てから 2025年 3月 31日まで

4．研究に用いる試料・情報の種類

患者背景（性別、年齢、問診票、診断名、入院日、転棟日、退院日）診療録、看護記録、投薬内容、麻酔記録

5．外部への試料・情報の提供

該当いたしません

6．研究組織

研究責任者 研究機関名 昭和大学横浜市北部病院 氏名 高橋健一

7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することができますのでお申出ください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象者としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和大学横浜市北部病院 麻酔科

氏名：高橋健一

住所：横浜市都筑区茅ヶ崎中央 35-1

電話番号：045(949)7784